

山火事＝森林火災への取り組み

・年初1月に「ロス山火事被害最大規模」との報道がありましたが、対岸の火事としていました。ところが、2月下旬に大船渡市で山火事が発生、さらに今治・岡山・宮崎市と続き、住宅延焼も含めかつてない大災害となりました。この展示は、このような事態に鑑み、JAPEX2018ワンフレーム部門に出品した作品をベースに、山火事への理解が広がるように、世界における山火事(以下:**森林火災**)へ取り組みを紹介するものです。なお、第2フレームは、第1フレームの補足編として、その後発行されたマテリアルも加えて、多くの情報をまとめています。

【プラン／構成】

1. 森林火災の延焼状況・・・P 2
2. 森林火災による被害・・・P 3
3. 森林火災の発生原因・・・P 4
4. 森林火災の防止・・・P 5～P10
5. 森林火災への実践的対応・・・P11～P15
森林パトロール、消火活動
6. 森林火災跡地の再生・・・P 16
7. 補足編・・・P17～32

【参考文献】

1. 地球環境研究会「地球環境キーワード事典」(2003)
2. 日本林業技術協会「森林林業百科事典」丸善(2001)

ニュース記事抜粋 (出典: 朝日新聞)

ロス山火事 13万人避難指示

2025年(令和7年)1月10日(金)

丘下る炎 焼け落ちた家々



8日、米カリフォルニア州のパシフィック・バリエース地区で丘の上の家々を焼く炎＝AP

2025年(令和7年)3月28日(金)

「飛び火」翻弄 人里へ

愛媛・今治 夜通し消火活動続く



延焼中の山林で消火活動する消防隊員＝27日午前11時32分、愛媛県今治市、本社ヘリから、小杉豊和撮影

一日も早い復興を願っています!!

2025年(令和7年)2月27日(木)



山林火災 2000人避難指示 岩手

岩手県大船渡市赤崎町で26日午後1時ごろ、山林火災が発生し、延焼している。市などによると、午後5時時点の焼失面積は600㊦以上。人への被害は「不明」、建物への被害は「民家等多数」としている。大船渡市は合志、綾里地区の873世帯2114人に避難指示を出した。岩手県内では19日から山林火災が相次いでおり、今回で3回目。▼35面「うちは燃える」炎で赤く染まる綾里大畑野地区 26日午後7時15分、岩手県大船渡市、小幡淳一撮影

1. 森林火災の延焼状況

森林火災は、1本のマッチからでも始まる。初めは地表の枯れ草や枯れ枝に点火し(①地表火)、やがて樹木の幹(②樹幹火)さらに枝葉に燃え広がり(③樹冠火)森林全体に延焼する。その拡大は、気温・湿度・風(風速、風向)などの気象条件によって大きく左右される。

— ①地上火/火災初期は林床の落葉・落枝・枯れ草に着火・燃焼する—



[イタリア M.C/森林保護 1984]

— ②樹幹火→③樹冠火/林床の火は樹幹に燃え移り、枝葉全体(樹冠)に拡大する—



— ブッシュ(草地・低木林)の火災/地上火から一挙に燃え広がる—



— 燃え上がる森林/「4時以降に注意:森林火災防止」を呼び掛ける—



[米国:標語 M.S/森林火災防止 1930.6.8 RICHMOND 局]

2. 森林火災による被害

森林火災よって、①森林の持つ機能＝木材供給・水源涵養・国土保全・野生生物の保護等＝が失われる。同時に②燃焼の過程で大量の二酸化炭素が放出され、地球温暖化が進む。時には③住宅地や市街地にも拡大し、建物・財産・人身にも被害が及ぶ。

－焼失前後の森林の姿／被災林…まだ燻っている－



[米国: 標語 M.S / 森林火災防止 1947.7.11 LONGVIEW 局]

－炎に追われる動物の群れ－

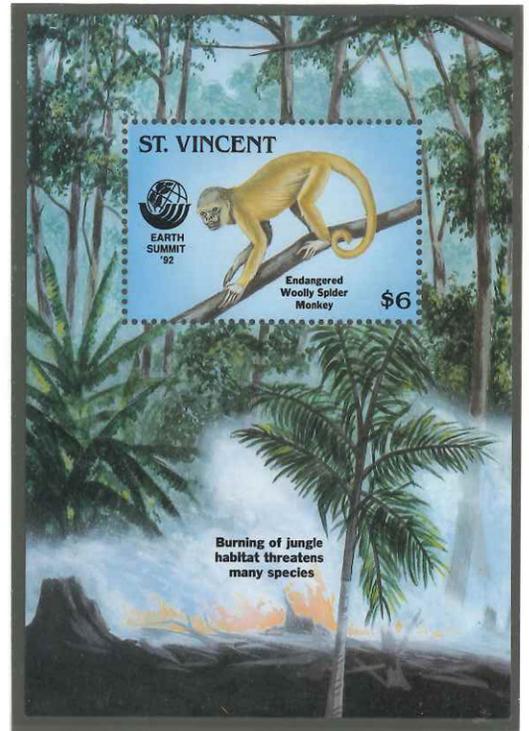


－焼失した森林／印面の焼け孔が生々しい－



➡ 森林火災により、多くの生物が焼死あるいは生息環境を破壊され、多種多様な生物種＝遺伝資源が失われる。

－温暖化要因の一つ森林火災－



[St.ビンセント: 地球サミット 1992]

－住宅に延焼する火災－



近年、カリフォルニア州、地中海沿岸における森林火災の被害は、住宅・人身にまで及んでいる。



[モルジブ: 第 5 回 SAARC サミット 1990]

3. 森林火災の発生原因

森林火災の発生は、①自然火災 あるいは ②人為火災に起因する。

(1) 自然火災は落雷・噴火等による。

— 落雷 —



— 火山噴火・火砕流 —



— 干ばつ・高温 —



1970～'90年代には、地球温暖化・砂漠化・森林減少等の防止の一環として、森林火災防止の切手が諸国から発行された。

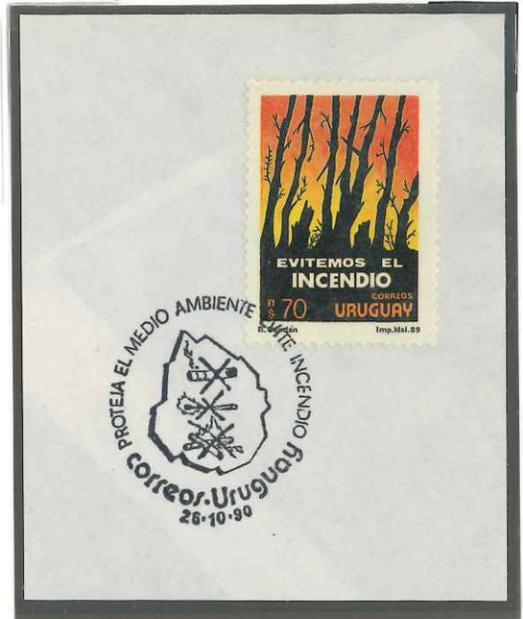
(2) 人為火災は焚火・タバコの不始末・花火・火入れ(焼き畑)放火等により、火災発生の80%に及ぶ。

— 人災の原因: 焚き火、花火、タバコ —



[ポルトガル: ECO ハガキ 20??/森林火災防止]

— 人為火災の原因: タバコ、マッチ、焚火 —



[ウルグアイ: 森林火災防止記念印 1990]

— 焼き畑からの延焼 —



— チェンソーなど作業中の機械からの火花・発火 —



[スイス: 広告 M.S./チェンソー宣伝 AARWANGEN 局]

4. 森林火災の防止

森林火災対策の基本は、その未然防止である。そのため各国において森林火災防止月間、森林内での警告表示、「郵便」による防止キャンペーン等を実施している。

4-1: 郵便による呼び掛けの経過

(1) 1910年代後半: 「標語入り機械印」の使用



[実郵便: カナダ 1920.9.7 VANCOUVER 局差立て→HOLLAND]

1910年代、米国カナダのける標語入り機械印の普及に伴い、1919年に「森林火災防止」キャンペーンの機械印が使用された。'30年代ドイツ、'50年代以降には、スイス、オランダ、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ、マダガスカルと拡大する。

(2) 1930年代前半: 「広告入りメータースタンプ(M.S)」の使用

<火災防止・森林保護>



[米国: 標語 M.S/森林火災防止 1936.4.7CONCORD 局]

米国では 1930年代以降とりわけ '50年代には大量の広告入りメータースタンプが使用され、森林火災防止キャンペーンも積極的に行われる。

(3) 1950年代後半: 「キャンペーン切手」の発行

—森林減少防止—

1958年、西ドイツから「森林火災防止」を呼び掛ける切手が発行され、1969年東ドイツと続く。'70年～'90年代は、砂漠化防止、環境保全の一環としての発行も増える。

—最初の森林火災防止切手 1958—



1970～'90年代には、地球温暖化・砂漠化・森林減少等の防止の一環として、森林火災防止の切手が諸国から発行された。

(4) 1960年代後半: 「絵入り封筒」の発行

1960年代後半、ソ連、ルーマニアから「森林火災防止」を呼び掛ける絵入り封筒及びハガキが発行され、'70～'80年代と続く。事例はリーフNo.7,8,12,13,14,15を参照。

4-2-1: 発生原因別アピール／マッチ

人為火災のほとんどは、マッチやライターの使用から始まる。「マッチ一本火事の元」は世界共通の認識である。

—マッチの炎が住宅を襲う—

—マッチの火が森林へ拡大—



[マダガスカル: 標語機械印 1976.6.17 TANANARIVE 局]

—マッチの炎と火災跡—



—マッチの火が森林へ—



[スイス: 標語機械印 1978.3.2 ZURICH 局]

—安全行動・山ではマッチを使うな—



[米国: 標語 M.S / 森林火災防止 1988.3.25 VISALIA 局]

◆ 第二次大戦、ドイツ占領下のオーストリアで使用の軍事郵便。1943 年はドイツの戦況が悪化に転じた時期、戦火の最中に「マッチに注意」との広告印を使用していることが注目される。



[実郵便／軍事郵便: ドイツ(オーストリア)1943.8.24 LEIPNITZ 局差立]

4-2-2: 発生原因別アピール / タバコ

(1) タバコの投げ捨ては、枯れ草に着火し直接の発火源となる。特に火災シーズン中の喫煙防止については、各国が取り組んでいる。

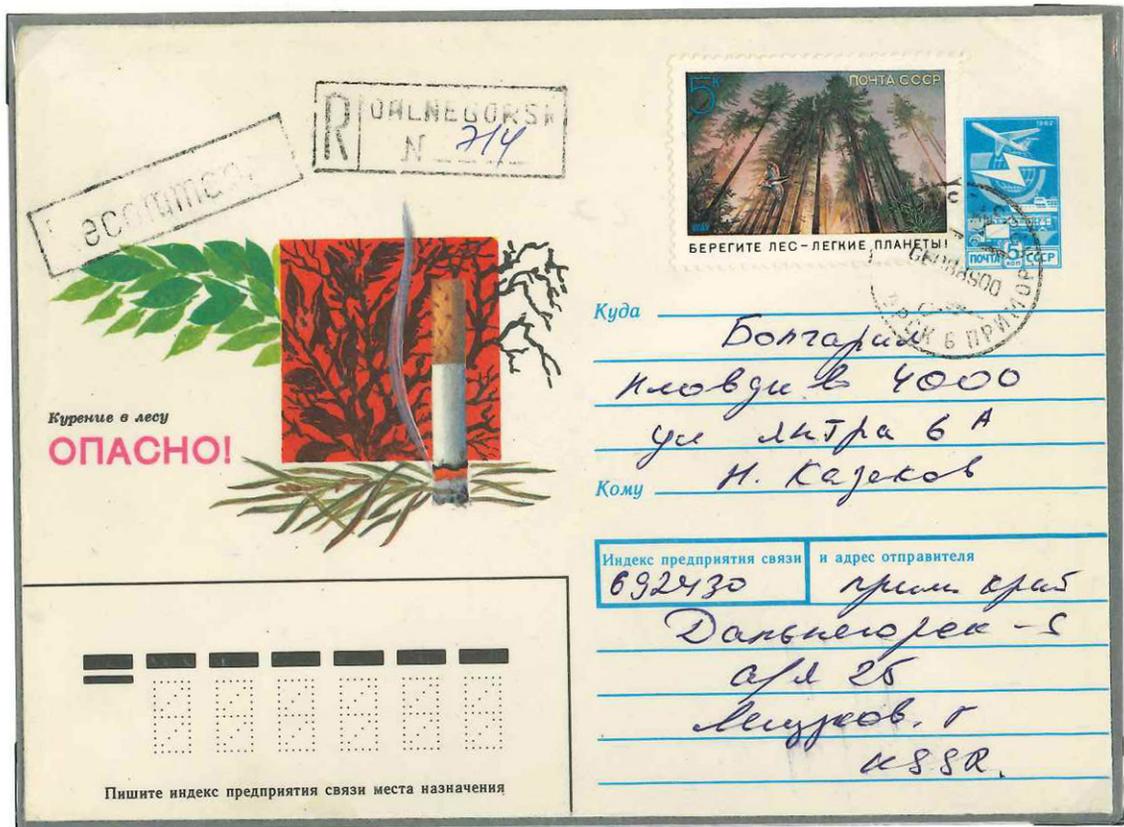
—<注告> 一本のタバコが森林火災を引き起こす>

—森林内でのタバコ禁止—



[フランス: 標語機械印 1959.11.11 St.RAPHAEL 局]

<危険! 森林内の喫煙>



[実郵便・書留: ソ連 絵入り封筒 1989]

(2) 近年高まっている健康上の禁煙運動は、発癌などの予防と同時に森林火災防止に大きな効果を生んでいる。

—死にそうだ! 悲鳴をあげる肺臓—

—世界禁煙の日—



4-2-3: 発生原因別アピール／焚き火

ハイキングやキャンプでの炊事・焚火の不始末、野焼きの延焼なども大きな原因である。

—去る前に焚火を消さない—

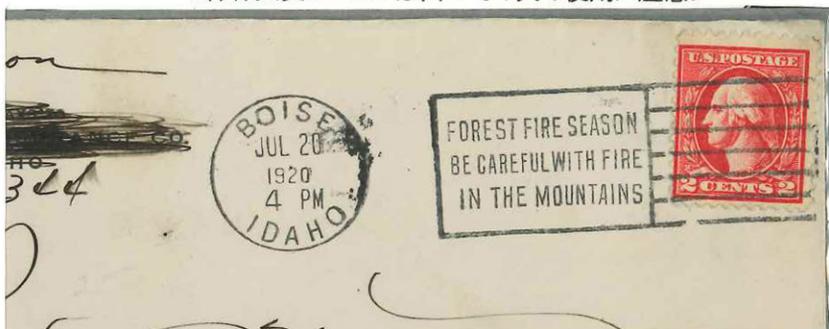
＜キャンプファイアーを去る前に消火を確認＞



[米国：標語機械印 1921.8.30 SALTRAKE 局]

—焚き火は危険である—

＜森林火災シーズンは山々での火の使用に注意＞



[米国：標語機械印 1920.7.20 BOISE 局]

＜焚火の始末をせずにマッチを手に下山する親子／心配顔の動物たち＞



[実郵便：ルーマニア 絵入り封筒 1977.12.8]

4-3: アニマル・キャラクターの活躍

(1) 米国では、1944 年に森林火災防止キャンペーンの効果を上げるために、熊のマスクット [Smoky Bear] がキャラクターとして採用され、現在も大活躍である。

1950 年代、機械印やメータースタンプに使用

<スモーキーはいう／あなただけが、森林火災を防ぐことができる>

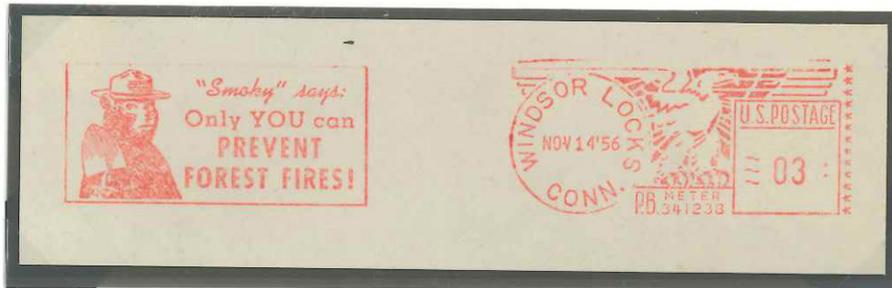
ー樹梢にしがみつく子熊ー



[米国: 標語 M.S 1956.7.20 GRANDO CANYON 局]

スモーキー40周年

<SMOKEY ハットと右手のシャベルはスモーキーの象徴>



[米国: 標語機械印 1956.11.14 WINDSOR LOCKS 局]

1950 年、森林火災で生き残った子熊が救出され生きたシンボルとして「スモーキー」と名付けられ、人気者となる。1984 年には、デビュー 40 周年の記念切手が発行される。

(2) 森の動物たちは、火災の直接被害者であり、その訴えはアピール力がある。日本＝リス、ソ連＝ウサギ、チリ＝ジャガー、メキシコ＝アライグマ、ドイツ＝赤いキツネなども活躍している。

ージャガー／チリー [森林火災防止記念印]

ーアライグマ／メキシコー [森林火災防止記念印]



ー江戸消防の纏ー

ーリス／日本ー江戸消防団のシンボル纏(まとい)を持つ。1972 年登場ー



[日本 標語 M.S 1973.3.27 大阪府庁内局(未使用)]

4-4: 公用便でのキャンペーン

公用便も、機械印使用や独自のイラスト活用で火災防止キャンペーンに一役買っている。

(1) 機械印使用: 1931.9.29、ニューファンドランド郵便電報省 ST. JOHNS 局差立て

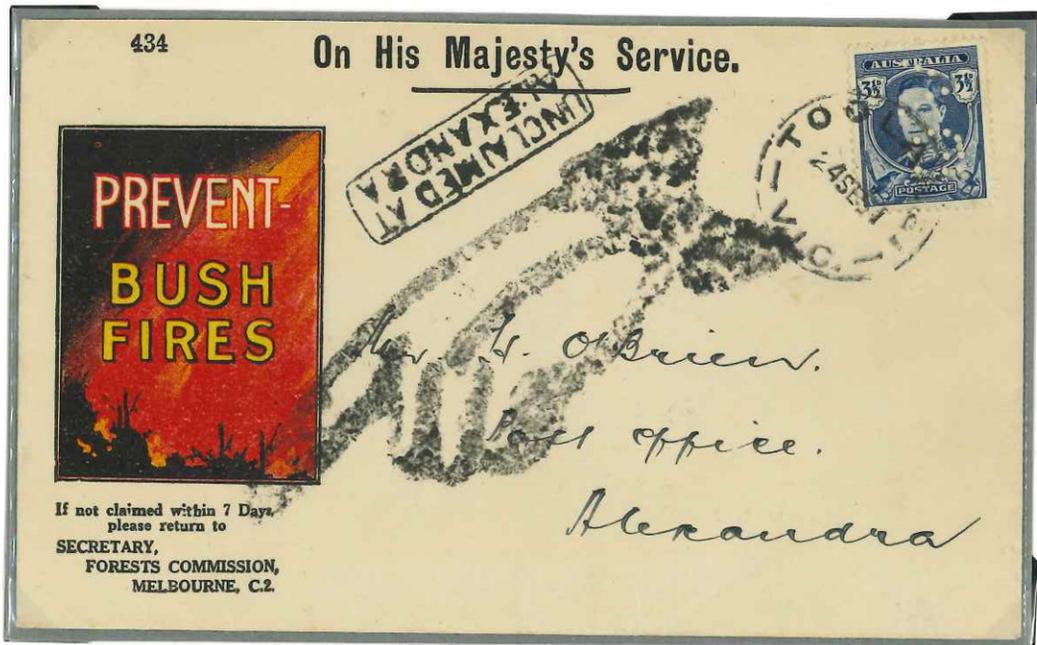
「森林火災防止が私達の森林を救う」



ニューファンドランドは、1949年にカナダ連邦に加入するまでは、1855年以降イギリス独立自治領として切手を発行していた。独立を支えたのは漁業・林業であり、1911年、世界で最初の林業切手も発行されており、公用便による森林火災防止キャンペーンにも先駆的である。

(2) イラスト活用: 1951.9.24 メルボルン森林委員会・VICTORIA TOOLA 局差立て

「防げブッシュ ファイアー Bush fires」



オーストラリアは、砂漠周辺に草本・低木が散生する半乾燥地が広がり、森林火災が多発している。このような低木林での火災を bush fires と呼び、1950年～80年代に標語入り機械印の使用など積極的な対応がなされており、このような公用便の使用もその一環である。

5. 森林火災への実践的対応

森林火災対策において、未然防止と同時に発生した場合の迅速な対応が重要となる。

その鉄則は「早期発見・早期消火」である。

5-1: 森林パトロール

森林火災の早期発見のため、森林のパトロールや望楼からの監視が行われる。

(1) 徒歩や自動車による地上からの巡回。

＜パトロール中の森林守備隊員／火災から護られているユネスコ M&B 調査森林＞



[イタリア:M.C.国家森林守備隊100年 2008].

一望楼による監視ー

一騎馬による監視ー

＜森林レンジャーの日／森林の番人への感謝＞



[ルーマニア: 標語入り機械印 1983]

一自動車によるパトロールー



一航空機によるパトロールー



一ヘリコプターによるパトロールー



(2) 航空機やヘリコプターによる空中からのパトロール。↑

5-2-1: 消火活動—地上消火／現場へ向かう消防士

早期消火のため迅速な出動、一刻を争う火災現場への到着が重要であるが、道路の無い現場、障害物の多い現場などそこへ到達するのも容易ではない。

＜消防車から火災現場へ駆けつける消防士＞



[実郵便・書留：ルーマニア 絵入り封筒 1988.7.27 DOLHASCA 局差立て]

＜下車して山道を消火機材を担いで登る消防士／中国伊春市天重大森林火災 20年＞



伊春市のある黒竜江省を始め内蒙古自治区、雲南省、貴州省地区で森林火災が頻発しており、年賀絵ハガキ等で注意を喚起している



[中国：福引付年賀絵ハガキ 2001]

5-2-2: 消火活動—地上消火/消火作業

消火作業は、火災の規模や場所に対応した方法で行われる。

- (1) 火災発生の初期段階では、人力による叩き消し、バケツやジェットシューター(背負式消火水囊)による注水で対応する。ボランティア活動での初期消火も重要である。

—初期消火/住民(左)・ボランティア(右)の活動—



—背負い式放水ポンプ=ジェットシューター



—樹幹火→縦冠火へ拡大/消防士によるポンプ放水—



[ユーゴスラビア: 火災防月間記念印]

- (2) 火勢拡大段階では、消防車の散水と連携した消火活動が行われる。

—森林用消防車—

消防車の活動には道路の整備、水の供給が必須であり、活動に制約を受ける。このため、空中消火が重要となる。



—消防士の装備—

消防士たちは、安全に作業するため、安全帽、ゴーグルマン、防塵マスク等を身に付け、スコップ、腰鋸を携帯する。

<森林用大型消防車/森林保護キャンペーン>



[実郵便: ポーランド 絵入りハガキ 1685.8.16 WARSZAWA 局差立て]

5-2-3: 消火活動—地上消火／特殊消防車

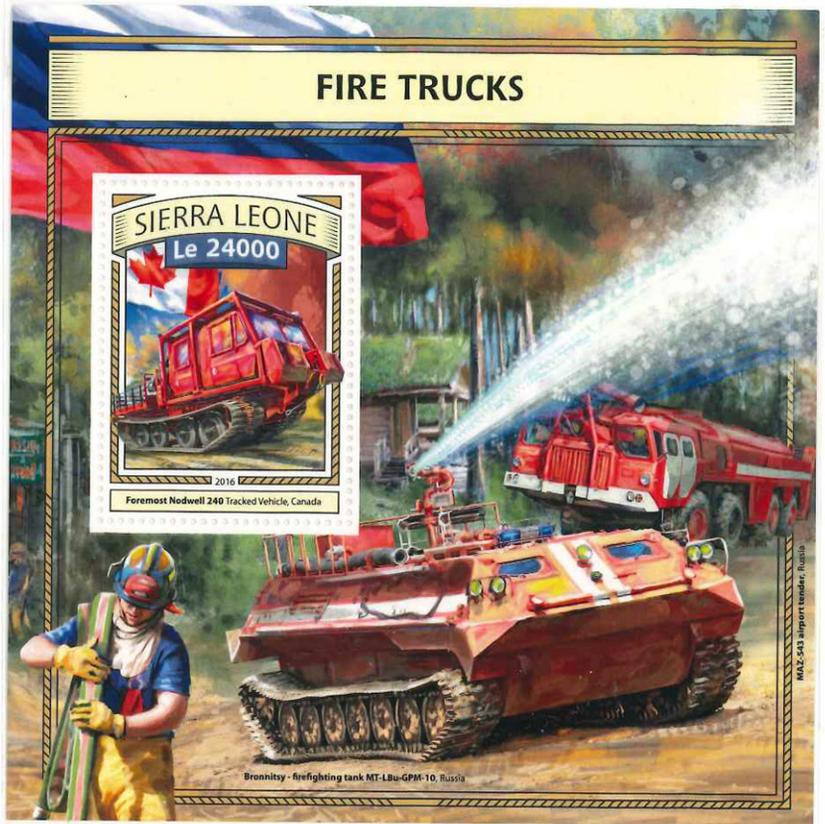
・道路がない現場、急傾斜地の現場では、大型タイヤ、キャタピラを装着した特殊消防車が使用される。

—山岳用特殊消防車／キャタピラ式トラック:カナダ、ロシア(シート地)—

—散水式大型特殊消防車—



—トラクタ・ホイール型特殊消防車—



[シエラレオネ:世界の消防用トラック 2016]

<山岳用特殊消防車／キャタピラ式トラック>



[実郵便:ソ連 絵入り封筒 1987.2.9 X局差立て/森林火災防止]

5-2-4: 消火活動—空中消火／航空機、ヘリコプター

・火勢が樹冠に及び森林全体に燃え広がった段階では、航空機やヘリコプターにより大量の水や消火剤・消火抑制剤が散布される。

—航空機による散水、消火剤散布—



◆CL-215(CanadairCL-215)
世界最初の消防用飛行艇。
1967年以來多数の国々で使用。
湖沼で滑走しながら水を補給・散水する。
海水は塩害のため使用不可。
◆PZL W3A Sokol:ポーランド製汎用ヘリコプター。吊り下げたバケツで水を運び散水。採水が容易。



—バスケット吊り下げ式—



◆Sikorsky s-70A Fire Hawk:米軍用Black Hawkとして知られるヘリコプターに、水タンクを整備。ロスアンゼルス軍消防局で活躍。タンク式なので注水が容易。

—タンク式—



5-2-5: 消火活動—地上と空中消火の連携

・大規模火災では、地上消火と空中消火とが密接な連携のもとに効果的に実施される。

<航空機から現場へ直接降下する>



[ソ連:絵入り封筒 1985/森林火災防止キャンペーン]

◆地上から到達できない現地へは、パラシュートで降下。延焼を阻止する防火帯の設置等が有効。

—ヘリコプターの散水と地上消火の連携—



ヘリコプター(バケツ式)による空中消火と地上消火との連携作業。完全装備の消防士。

5-3: 消火作業の安全

・森林火災は、自然相手の作業であり、科学的かつ十分な経験的対応が求められる。

—森林作業の安全—



—消火作業による殉職者—



I.Pll.oci



J.A.Sanhueze

6. 森林火災跡地の再生

・地表火程度の被害の場合は、自然力で再生するが、樹冠火の被害を受けた場合は、植樹により再生が図られる。被災森林が果たしていた各種の働きを早期に回復することが重要である。

—火災後の黒焦げの立木—



—火災跡地の再植林—

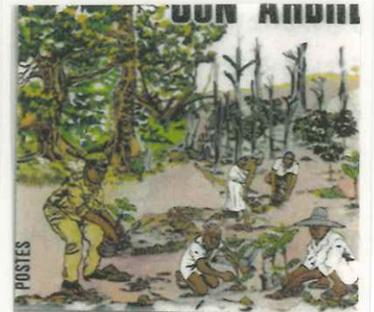


[植林部分を拡大 ×2.5]

—燃える森林(上)と焼け跡(下)—



—燃焼中の森林(左)と跡地の植林(右)—



[植林部分を拡大 ×2]

<植林は国民の義務である>

[Sepia printer's proof マダガスカル 1960]



—樹木週間—

森林火災防止の基本は、未然防止そして早期発見・早期消火といえます。未然防止は一人ひとりの注意によって可能となります。難しことでは無いはずですが。一方、放火(愉快犯)/心の病—によるものも増加している現実もあります。とわいえ「あなただけが・・・」とのスモーキーの呼び掛けを再認識することが大切でしょう。

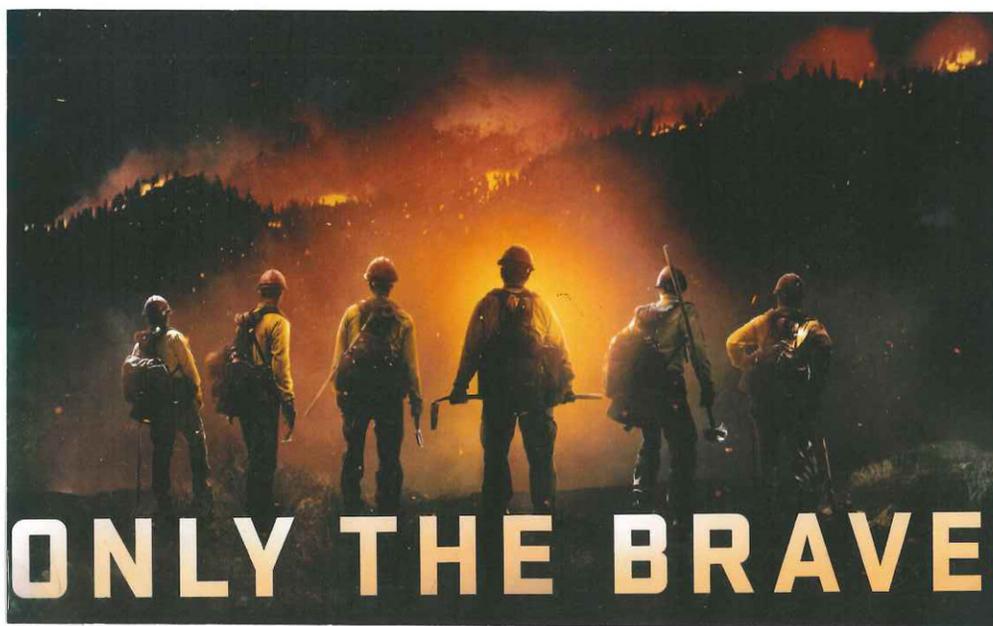
山火事／補足編

・前フレーム「7.補足編」です。構成は本編に従っていますが、マテリアルの関係で断片的になっています。本編と合わせると切手（狭義／純山火事切手）については、発行されているもののほぼ95%以上は展示しています。

【構成】

- 補1. 森林火災の発生状況・・・・・・・・・・ P18
- 補2-1～2. 森林火災による被害・・・・・・ P19～20
- 補3-1～5. 森林火災の予防・・・・・・ P21～26
- 補4-1～4. 森林火災への実践的対応・・・・ P27～30
- 補5. 気候変動＝地球温暖化への対応・・・・ P31
- 補6. 山火事予防・・・・・・・・・・ P32

【参考文献】 飯泉 茂編「ファイアーエコロジー」東海大学出版会（1991）



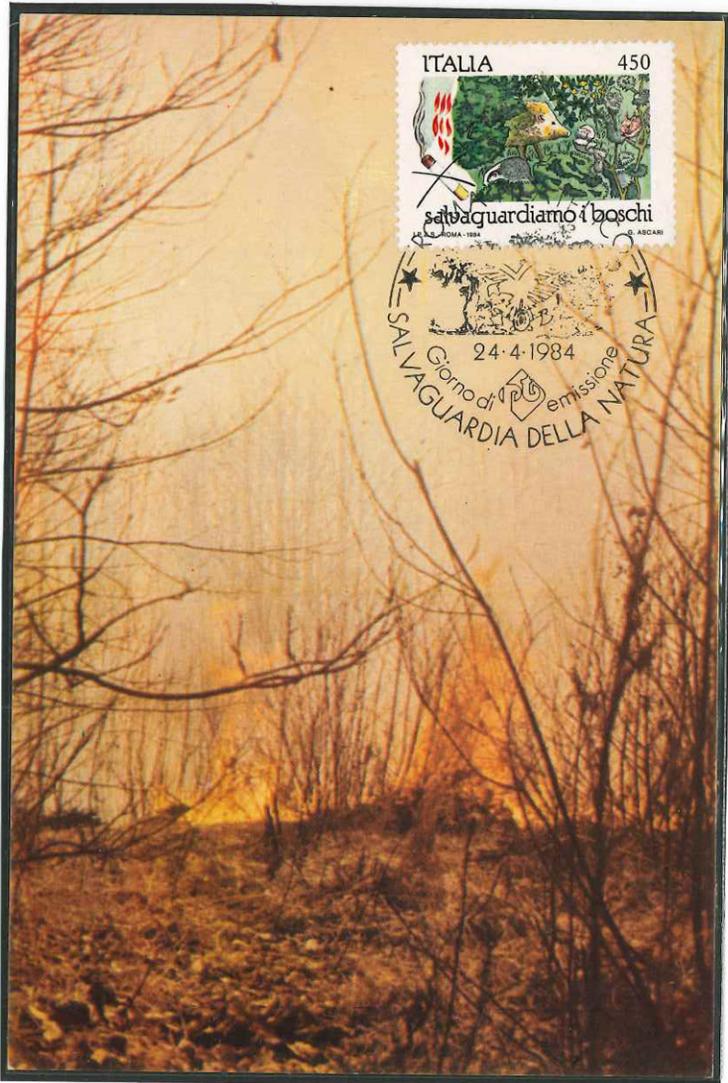
山火事映画＜真の勇士＞：
2013年米国アリゾナ州で発生した森林火災に立ち向かった森林消防隊の精鋭21人中19人が殉死した実話に基づいた秀作。
2018年上映。
（引用：解説パンフレット）



補 1. 森林火災の延焼状況

自然保護、環境保全、砂漠化防止、森林年などのキャンペーン切手の部分や背景に、延焼中の森林がさりげなく描かれ、その防止を呼び掛けている。

切手の何処で発生しているか、パトロールしてください。



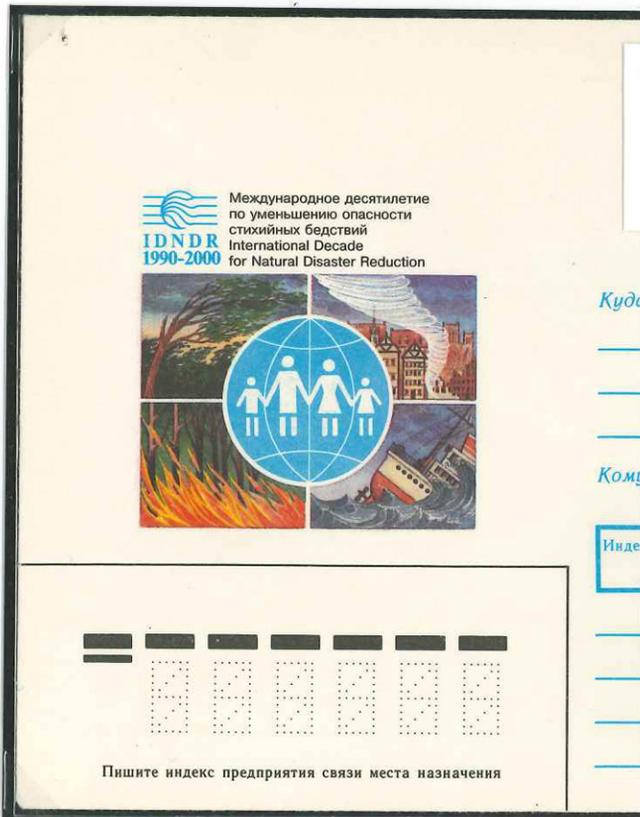
[M. C] 森林火災防止 (フランス 1984)



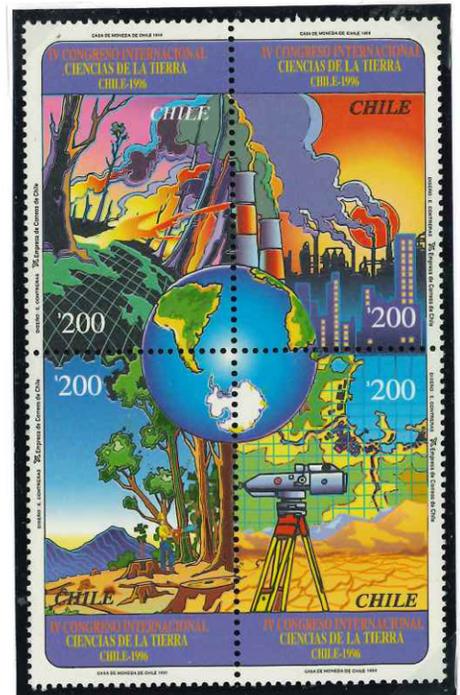
補2. 森林火災による被害

森林火災被害は、森林焼失により森林の多機能が失われのはもとより、大規模になると人命、財産にも及ぶ大惨事となる。近年、海洋汚染、大気汚染、フロン排出、過剰伐採、大型竜巻等による被害が増加しており、森林火災もその一つとなっている。

☞ 森林火災の他の被害をチェックしましょう。



[絵入封筒] 国連国際防災10年 1990~2000 (ソ連 1994)



国際地球科学会議 (チリ 1996)

補 2 - 2. 森林火災による被害／追われる動物

森林火災は、そこに棲息している動物に大きな被害を及ぼし、同時に森林生態系に計り知れないマイナスの影響を与える。その防止は、砂漠化防止、エコロジ—行動、野生動物保護、国際森林年など多く分野で呼びかけられている

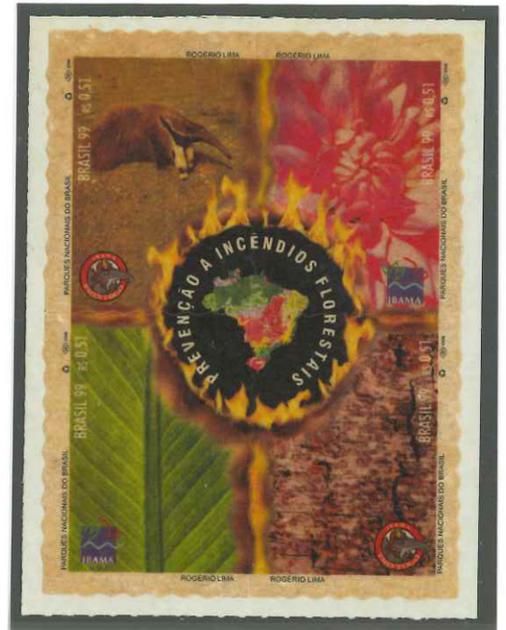
📧 左上：ラオスの子供が描いた絵。下段中央：大蛇に注目！



補3.ー1. 森林火災の予防／防止キャンペーン

森林火災対策の基本は、その発生を未然防止に防止することである。「郵便」も切手、封筒、カードなどに工夫を加えながら防止キャンペーンを展開している。

☞ 右上：ブラジルの森林火災防止4種(田型)：火災で燃えた木材の匂いをしみ込ませた再生紙を使用し、視覚、嗅覚でアピールしています。下段封筒：木々たちの恐怖が聞こえます。



[絵入封筒] 森林火災防止キャンペーン (ソ連 1980)

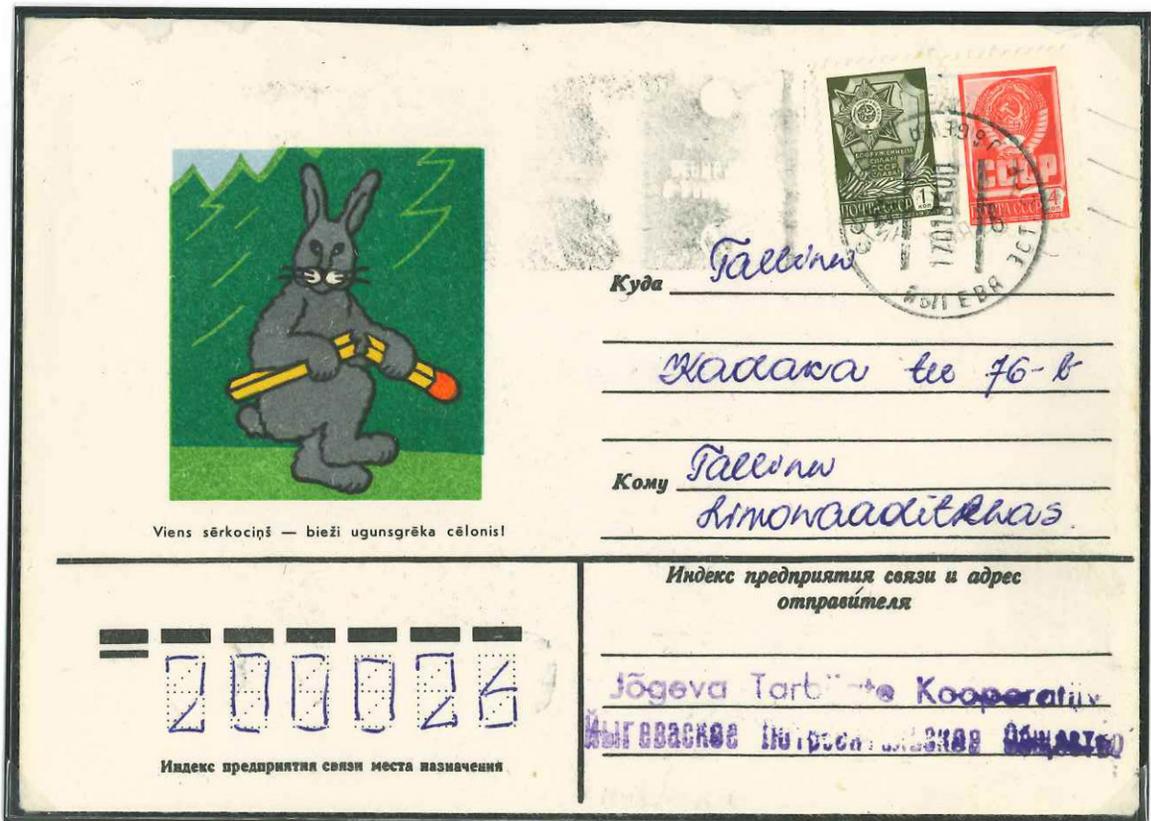
補3-2. 森林火災の予防／1本のマッチ

マッチ(今ではライター、着火マン)は火の源であり、1本のマッチが数百～数千・数万 ha の森林を焼き尽くすエネルギーを持っている。「マッチ1本火事の元(もと)」は、世界の共通語である。

☞左ベトナムの環境保全：SOSのOの中を注目！



[デラックス・シート] 森林火災防止(セネガル1977)



[絵入封筒] 森林火災防止キャンペーン(ソ連1985)

補3-3-1 森林火災の予防／絵入封筒によるアピール／燃える森林

ソ連(ロシア)をはじめ、ルーマニア、ブルガリアなどの東欧諸国から、絵入封筒(切手つき、切手なし)を用いて各種のPRが行われている。森林火災についてはソ連が最も積極的に消火活動を含めて、6点展示されている。

☞ 下段ブルガリアのカシェ：赤い地に樹幹から樹冠へ広がる白ぬきの炎と警告文に惹かれます。



[絵入切手つき封筒] 森林火災防止キャンペーン(ソ連 1979)



[絵入切手つき封筒] 森林火災防止キャンペーン(ブルガリア 1969)

補3-3-2. 森林火災の予防／絵入封筒・・・／ハイク、キャンプの後始末

日本における森林火災の発生は春先の4月がピークである。これは湿度や風、林床等の自然条件に加えて行楽や山菜採りのため入山者が増加等の人的条件によっている。このため、キャンプでの火の後始末の徹底などが、強く呼びかけられている。

☞ 下段ソ連のカシェ：赤文字の警告文…適当な日本語を当てはめてください。



[絵入封筒] 森林火災防止キャンペーン(ソ連 1978)

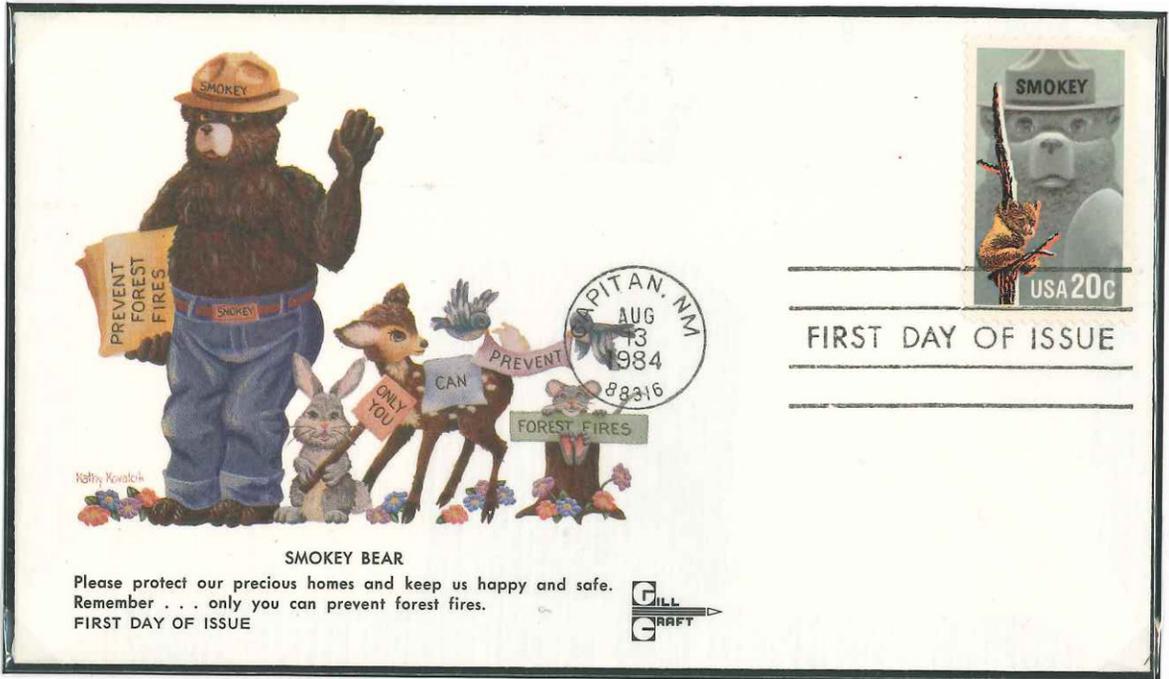


[絵入切手つき封筒] 森林火災防止キャンペーン(ソ連 1979)

補3-4. 森林火災の予防/F. D. C(初日カバー)

F. D. Cは、記念印、カシエの各々が切手の発行目的に沿ったもので構成されている場合には、3点が共鳴し多くの情報を発信している。しかし、その多くは、郵趣家内で留まっている。

☞米国の<スモキーベア>、東ドイツの<赤いキツネ>：それぞれ魅力あるデザインです。

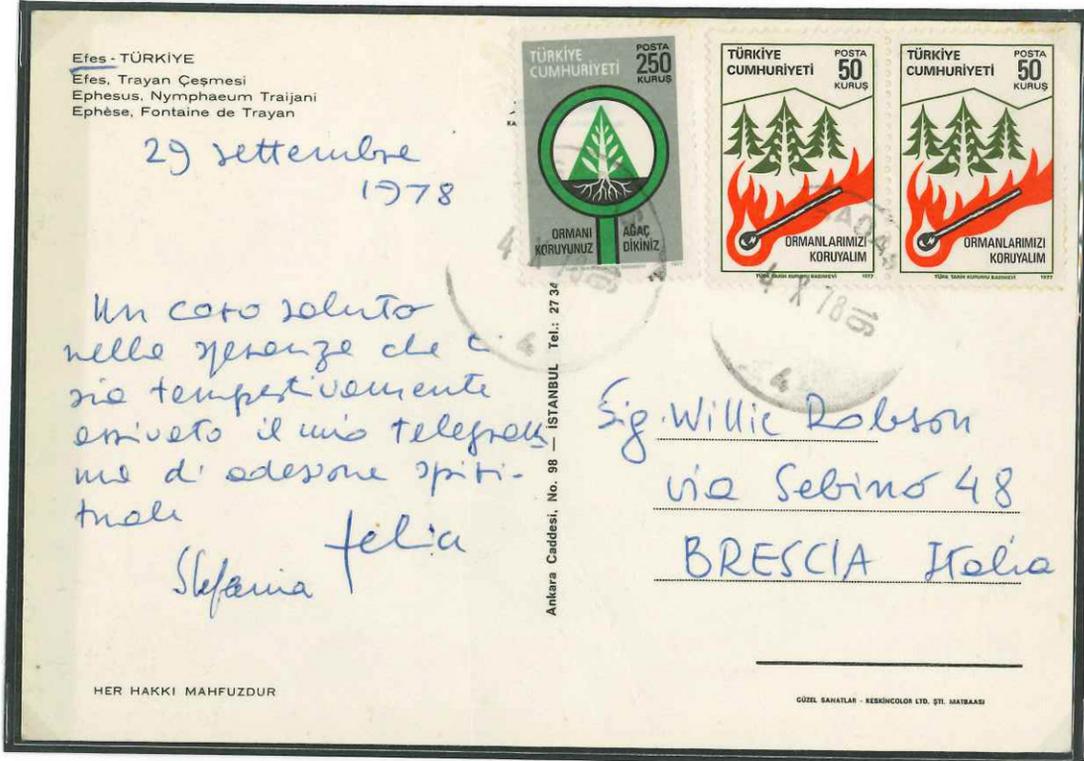


補3-5. 森林火災の予防／絵葉書実郵便

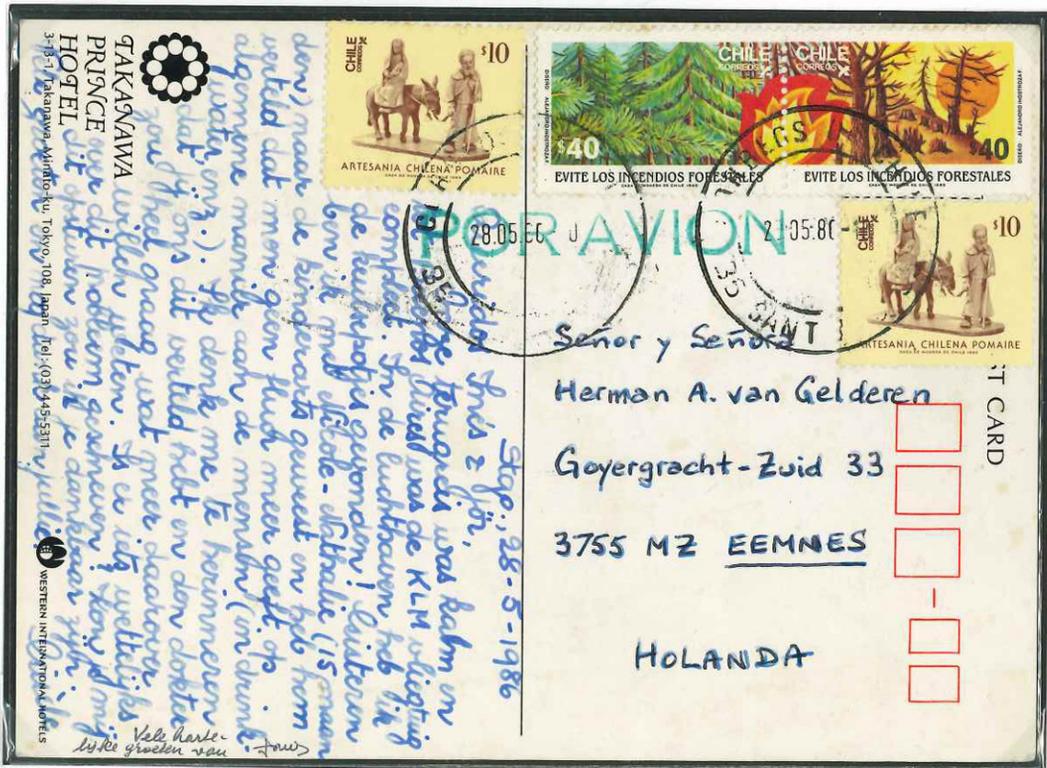
森林火災防止の切手を貼った絵葉書—上段はトルコ→イタリアへ、下段はチリ→オランダへ送られており、その間多数の人の目に触れられている。キャンペーン効果は大きい。

この絵葉書、今日は切手展において、皆様の目に写っています。切手たちも喜んでいることでしょう。

〈森林保全2種：生長する若木／マッチ1本で燃える森林、トルコ 1977〉



〈森林火災防止2種連刷：健全な森林が燃えて丸坊主となる、チリ 1985〉



補 4 - 1. 森林火災への実践的対応—消火活動／地上消火

森林火災への対応は、早期発見—早期消火が鉄則である。消火作業は先ず地上消火によるが、規模拡大に応じて空中消火を開始し、地上と空中の連携のもとに効果的な消火作業が行われる。

シートでは、切手とシート地が渾然一体となり臨場感ある消火現場を演出しています。

<切手上とシート地：空中消火と連携した地上消火。切手下：20世紀初期の消防車／ニジェール 1999>



<切手：耐熱防護服で火災現場へ向かう消防士。シート地：空中消火と高所作業消防車／ギニア 2006>

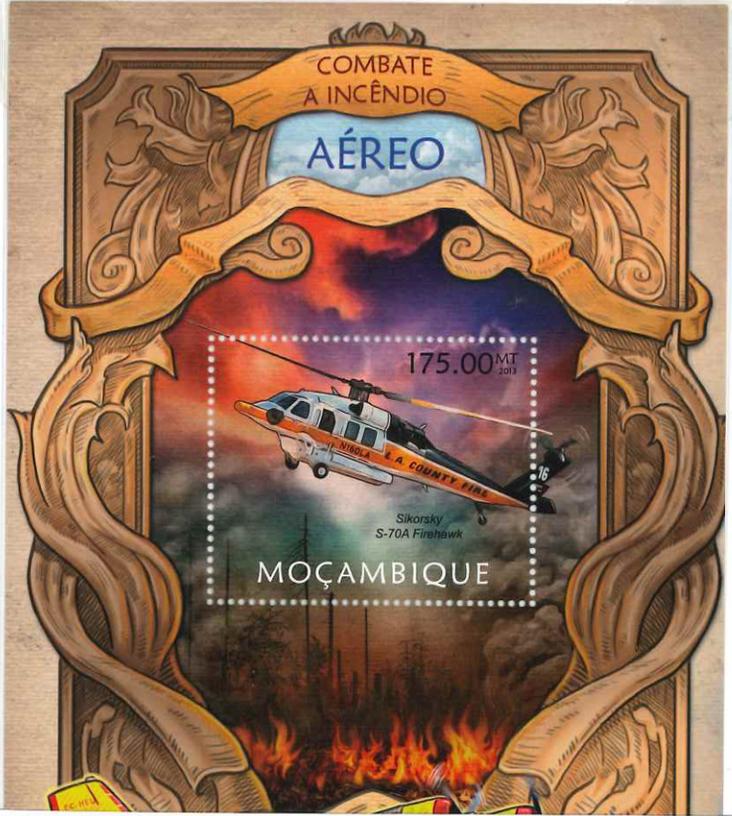


補 4 - 2. 森林火災への実践的対応—消火活動／空中・ヘリコプター—

空中消火は、ヘリコプターと航空機が使用され、消火は河川・沼湖や海の散水、消火剤散布による。ヘリコプターには、バケット式とタンク式がある。

☞バケット式・タンク式：右の切手をご覧ください。

<COMBATE A INCENDIO=森林火災との戦い /モザンビーク 2013>



<切手:消防士。シート地：高所作業者と連絡ジープ、バケット散布中ヘリコプター／ギニア 2006>



補 4 - 3. 森林火災への実践的対応—消火活動／空中・航空機

空中消火は、欧米では航空機が多く用いられている。中でもカナダ航空 CL215 型双発飛行艇は、水面を滑走しながら水補給ができるので作業効率が高く、多くの国々で使用されている(切手上段、シート地)。

✉ 航空機や消防車の型式は、切手に微小文字で記載されています。



<シート地：空中消火航空機の名機＝C L 215 双発飛行艇。切手：活躍中の消防車／マダガスカル>



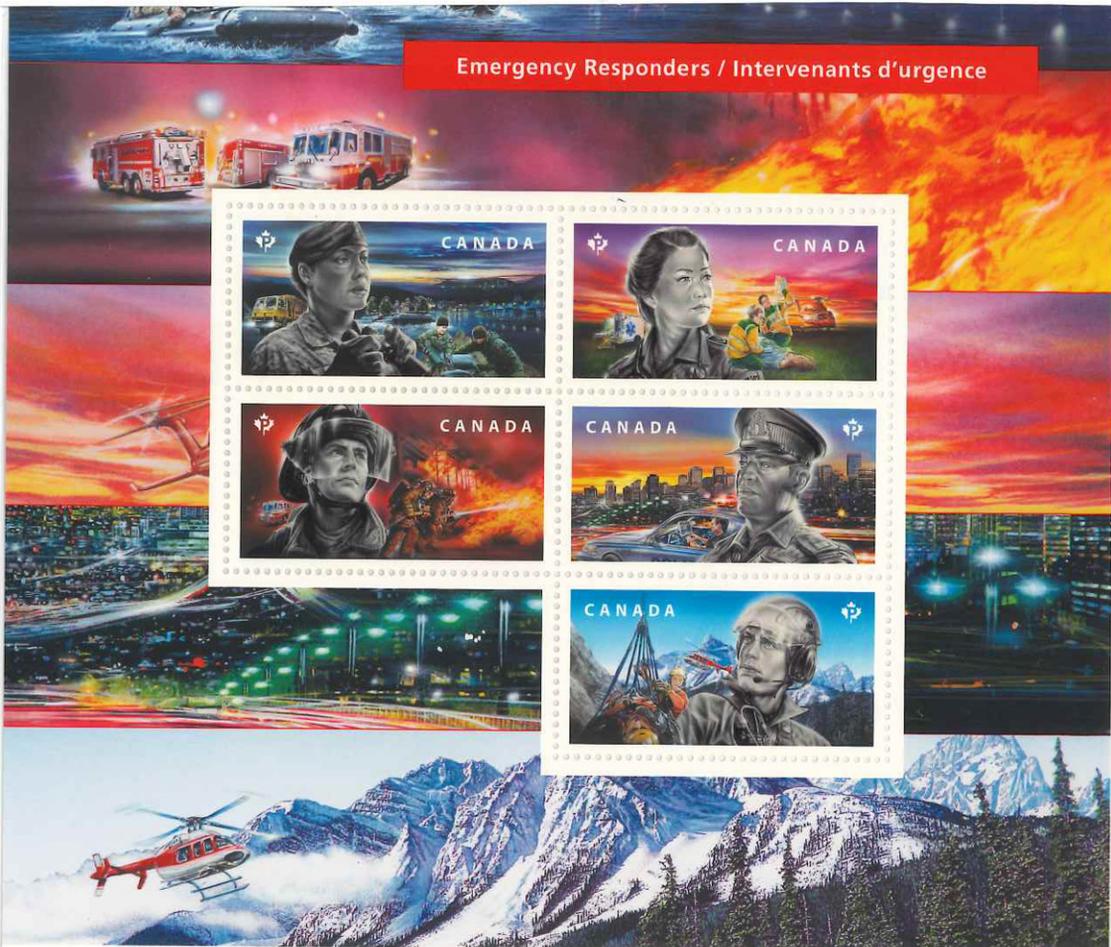
補 4 - 4. 森林火災への実践的対応—救護＝レスキュー

消火活動に従事する消防士やパイロットは、常に落命の危険の中で活動している。時には、地元の住民にもその危険が及ぶ。このため、火災状況のパトロールと連動したレスキュー活動がなされている。

☞左の切手・オーストラリアの「共に生きる Living Together 9」の1枚、森林火災 Bush Fire を逃れる人とカンガルーとの共助が描かれている(25種 1988)。



〈非常時の責任者：国防・消防・医療看護・警察・公園管理—消防に森林火災が描かれている。カナダ〉



Special thanks to the Department of National Defence, the Canadian Association of Fire Chiefs, the Paramedic Association of Canada, the Canadian Police Association and Parks Canada for their expertise.

Remerciements tout particuliers au ministère de la Défense nationale, à l'Association canadienne des chefs de pompiers, à l'Association des paramédics du Canada, à l'Association canadienne des policiers et à Parcs Canada pour leur expertise.

COLOUR INNOVATIONS
Design : William Lam Design
Illustration : Shiro Nishiguchi



補5. 気候変動＝地球温暖化への対応

近年、世界の各地で頻発している大規模森林火災について、失火による直接的な原因に加えて、気候変動の影響で気温が上昇し、乾燥・強風の悪循環が火災を増幅していると言われている。地球サミットで合意された気候変動枠組条約(地球温暖化防止)のさらなる推進が望まれる。

☞ 下段の切手：世界環境デー(タイ 2008)。日本のカワイイ切手と並べてみましょう。

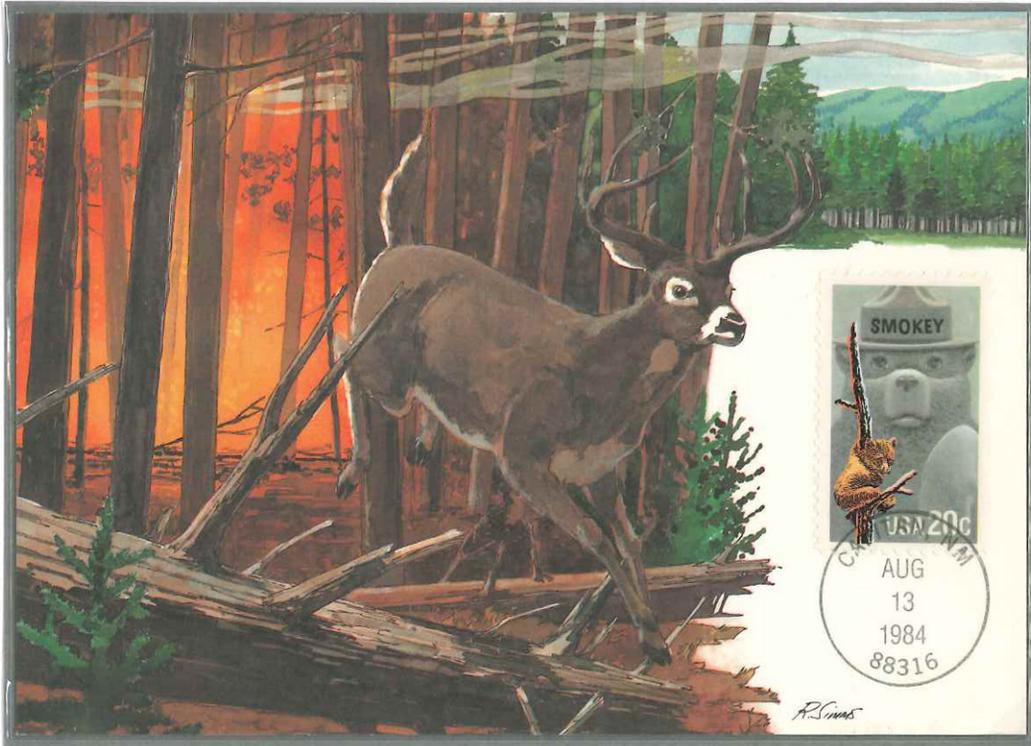
上段の切手：ミレニアム、21世紀の選択…右か？左の世界か？(上・ドミニカ、下・スロベニア)

シート：気候変動…説明は「釈迦に説法」でしょう。(上・カンボジア、下・トーゴ)



補6. 山火事予防

今月・4月は、日本の山火事発生件数がピークとなっています。地震・津波・台風・豪雨・大雪等々…日本列島は多くの自然災害に襲われています。しかし、山火事は人災であり一人一人の心掛けで未然に防止できます。



スモーキーと「まとい(纏)のリス」との共演：「まとい」を持ったリスは、山火事予防のシンボルマーク（林野庁制定）



<山火事予防ステッカー／林野庁配布>



みどりの日（現在5.4）発行、唯一の？山火事切手。HAGA 工房作成。

